



平成 26 年 2 月 27 日

各 位

大阪市北区小松原町 2 番 4 号 大阪富国生命ビル
会 社 名 日本駐車場開発株式会社
代 表 者 の 代 表 取 締 役 社 長 巽 一 久
役 職 氏 名
(コード番号: 2353 東証市場第一部)
問 合 せ 先 取 締 役 管 理 本 部 長 小 野 大 三 郎
電 話 番 号 0 3 - 3 2 1 8 - 1 9 0 4

平成 26 年 7 月期第 2 四半期連結累計期間の業績予想と実績値との差異に関するお知らせ

平成 25 年 9 月 6 日に公表しました平成 26 年 7 月期第 2 四半期連結累計期間の業績予想と実績値との差異について、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 平成 26 年 7 月期第 2 四半期連結累計期間業績予想と実績値との差異

(平成 25 年 8 月 1 日～平成 26 年 1 月 31 日)

(単位: 百万円)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	四 半 期 純 利 益	1 株 当 たり 四 半 期 純 利 益
前 回 発 表 予 想 (A)	7,230	1,050	1,070	650	1 円 95 銭
実 績 値 (B)	7,464	1,204	1,343	869	2 円 60 銭
増 減 額 (B - A)	234	154	273	219	—
増 減 率 (%)	3.2	14.7	25.5	33.8	—
(参考)前期第 2 四半期実績 (平成 25 年 7 月期第 2 四半期)	6,224	919	1,033	653	1 円 96 銭

(注) 当社は平成 26 年 2 月 1 日付で普通株式 1 株を 100 株に分割する株式分割を行っております。1 株当たり四半期純利益は前連結会計年度の期首に株式分割が行われたと仮定して算定しております。

2. 差異の理由

スキー場事業において、国内及び海外での営業活動を強化したことにより、夏季シーズン及び冬季シーズンの集客が想定以上に好調に推移し、営業利益が前回発表予想に対して 154 百万円上回ったことに加えて、営業外収益について、株式市場の活況により投資有価証券売却益を 71 百万円計上したこと、不動産市況の回復に伴い、不動産私募ファンドから物件売却による利益分配があり、匿名組合投資利益を 34 百万円計上したこと等により、経常利益が前回発表予想を 273 百万円上回り、それに伴い、四半期純利益も前回発表予想を上回りました。

なお、平成 26 年 7 月期通期連結業績予想数値については修正いたしません。

以上